



2020年5月14日

各 位

上 場 会 社 名 株式会社 日本マイクロニクス
 代 表 者 代表取締役社長 長谷川 正義
 (コード番号 6 8 7 1)
 問合せ先責任者 専務取締役管理本部長 齋藤 太
 (TEL 0422-21-2665)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年2月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2020年12月期第3四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2019年10月1日～2020年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	23,600	1,500	1,600	1,200	31.45
今回発表予想 (B)	24,300	2,000	2,100	1,700	44.55
増減額 (B-A)	700	500	500	500	
増減率 (%)	3.0	33.3	31.3	41.7	
(ご参考)前期実績 (2019年9月期第3四半期)	21,282	2,147	2,276	1,595	41.62

2020年12月期第4四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2019年10月1日～2020年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半期 (当期)純利益	1株当たり 四半期(当期) 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	31,800	2,300	2,400	1,900	49.79
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年9月期通期)	27,954	1,466	1,626	879	22.97

2. 修正の理由

当社グループが属する半導体、FPD市場の直近の市場環境及び動向等を踏まえて業績予想を精査した結果、前回公表の2020年12月期第3四半期累計連結業績予想を見直すこととしました。また、新たに2020年12月期第4四半期累計連結業績予想を開示いたします。

売上高につきましては、短期的にはメモリ向けプローブカードの需要が堅調に推移しており、前回予想を上回る見込みです。

また、売上高の増加により第3四半期の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も併せて増加すると予想しておりますが、第4四半期につきましては、プロダクトミックスの変化や一時的なコストの増加により、利益率は第3四半期に比べ下がると予想しております。

なお、短期的にはメモリ向けプローブカードの需要が堅調に推移すると考えておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響が見込まれる場合は、あらためて適時、適切にお知らせいたします。

- (注) 1. 当社は、2019年12月19日開催の第49期定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認可決されたことを受け、2020年度より決算期を9月30日から12月31日に変更することとなりました。
- 決算期変更の経過期間となる2020年12月期（第50期）は、2019年10月1日から2020年12月31日の15ヶ月決算となります。
- なお、6月決算の連結子会社につきましては、2019年7月1日から2020年12月31日の18ヶ月間を連結対象期間とします。
- また、当社グループは、各四半期の決算発表時点で2四半期先の業績予想を開示しております。
2. 上記の業績予想等は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上